

潟上市議会だより

みんなのギカイ

～かたがみのミライをつくる広報誌～



つなげよう
かたがみの未来へ!!

追分保育園の運動会
9月27日開催

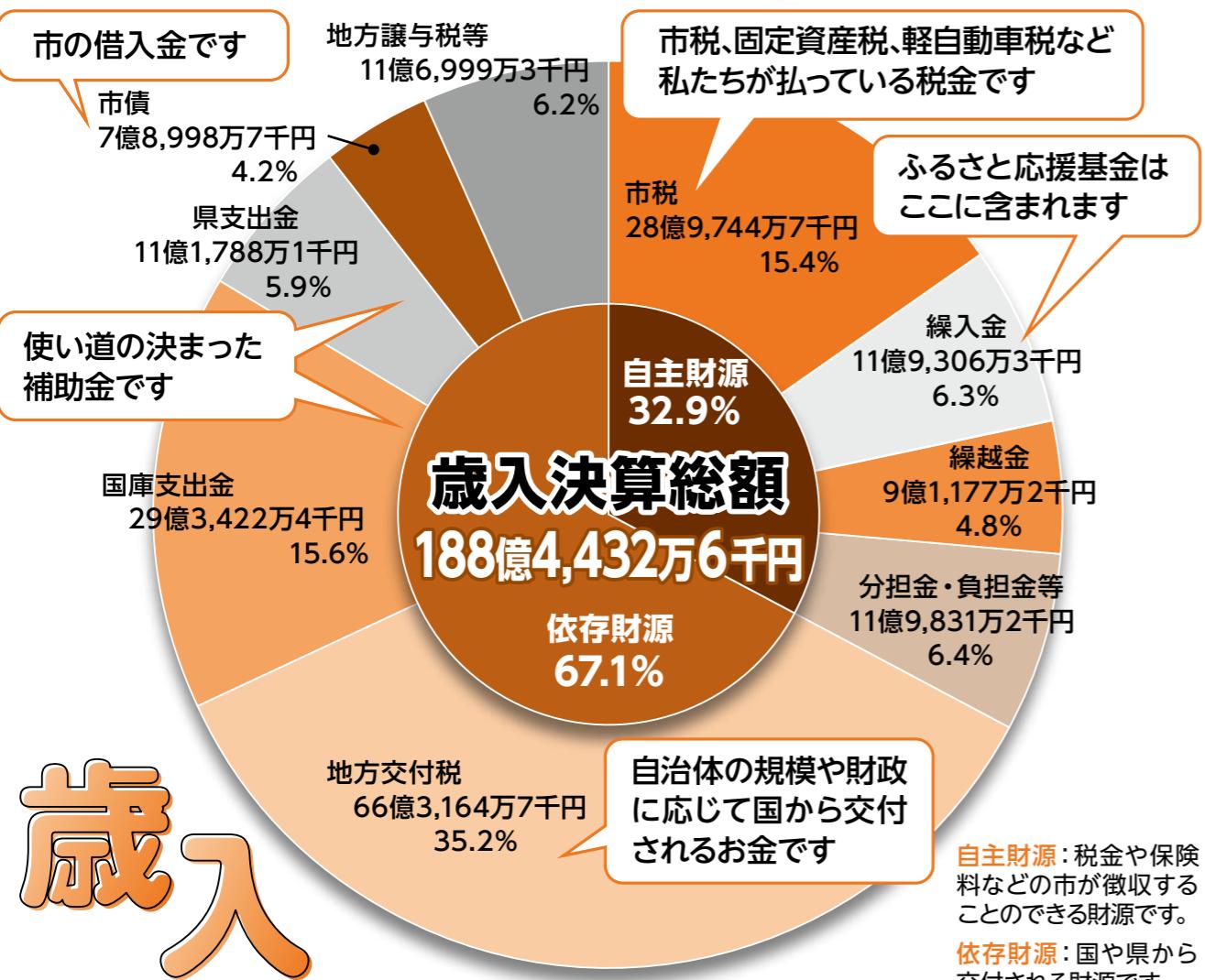
CONTENTS

- 2 - 4 9月定例会
- 5 提出された議案等
- 6 - 8 委員会の動き
- 9 行政視察研修
- 10-13 一般質問・臨時会
- 14 議長、副議長就任・賛否一覧・綱紀処正について・編集後記

No.82

2025年9月定例会
[令和7年11月1日発行]

歳出



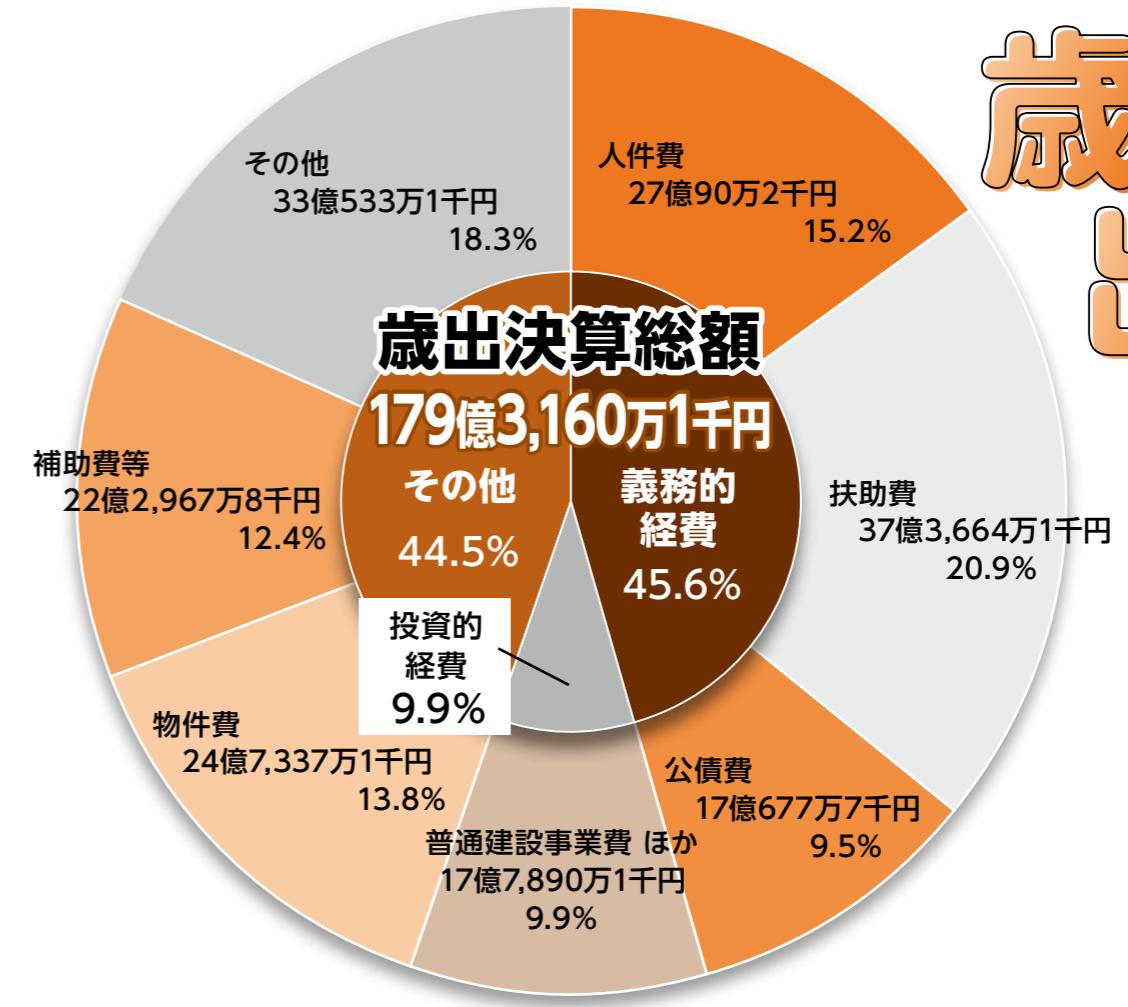
歳入

【歳 出】			
款	本年度	増減額	増減率
1 議会費	164,070	▲ 3,491	▲ 2.1
2 総務費	3,515,399	350,320	11.1
3 民生費	6,251,925	137,334	2.2
4 衛生費	1,052,967	▲ 56,712	▲ 5.1
5 労働費	2,707	931	52.4
6 農林水産業費	317,484	▲ 51,572	▲ 14
7 商工費	496,103	40,015	8.8
8 土木費	1,647,475	112,623	7.3
9 消防費	981,040	62,013	6.7
10 教育費	1,716,529	516,135	43
11 災害復旧費	79,125	16,716	26.8
12 公債費	1,706,777	▲ 83,134	▲ 4.6
13 予備費	0	0	0
歳出合計	17,931,601	1,041,178	6.2

財政健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	13.34
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	18.34
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	6.3	25.0
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	26.9	350.0

※健全化判断比率は上記のとおりであり、全ての比率において早期健全化基準を下回っています。



令和6年度 決算 主要成果

- ◎追分保育園施設改修事業
- ◎災害復旧事業費
- ◎二田追分線改良事業
- ◎物価高騰重点支援給付事業
- ◎武利子澤白洲野樹園地1号線ほか2路線改良事業
- ◎かたがみ未来子育て応援事業
- ◎道路メンテナンス事業（橋りょう補修）
- ◎中小企業等稼げる力創出事業
- ◎千刈田・中羽立線舗装補修事業
- ◎介護保険施設等物価高騰対策事業
- ◎元木山公園長寿命化事業
- ◎新型コロナウイルスワクチン定期接種事業
- ◎天王総合体育館改修事業
- ◎妊娠婦健診事業
- ◎飯田川ふれあいスポーツ会館改修事業
- ◎学校統合型校務支援システム運用事業
- ◎天王小学校長寿命化改良事業
- ◎除排雪事業
- ◎スポーツによる地域活性化プロジェクト応援事業
- ◎かたがみ給油クーポン配布事業

2025年 9月定例会

9月4日~26日

一般会計(第5号)補正額

5億3,956万5千円

可決

一般会計補正予算(第5号)の主なもの

障害者支援施設等物価高騰対策事業	社厚	48万円
物価等の高騰に伴う障害者支援施設等の負担軽減を図るため、食材料費の一部を補助する。		

介護保険施設等物価高騰対策事業	社厚	578万4千円
物価等の高騰に伴う介護保険施設等の負担軽減を図るため、食材料費の一部を補助する。		

鳥獣被害対策事業	産建	90万円
鳥獣被害対策実施隊員へのパトロール等の要請が増加したため、報酬を増額する。		

鞍掛沼公園施設管理運営事業	産建	234万6千円
鞍掛沼公園3施設の維持管理のため、経年劣化している箇所の工事等を行う。 ・くららの湯電話設備主装置交換工事ほか		

ブルーメッセあきた関連4施設の維持管理経費の増加に対応するため、事業費を増額する。	産建	80万円

保育所・認定こども園運営事業	社厚	172万5千円
子どもの健康管理や保育環境充実のため、保育所・認定こども園の経年劣化している箇所の修繕等を行う。 ・追分保育園エアコン修繕ほか		

生徒派遣費補助金	総文	440万円
補助金対象者の増加に対応するため、事業費を増額する。		

市民センター追分館管理事業	総文	140万2千円
施設利用者の安全確保のため、雨漏り箇所の修繕を行う。 ・ロビーおよび多目的ホール(体育館)雨漏り修繕		

図書館管理運営事業	総文	151万8千円
施設利用者の安全確保のため、自動ドアおよび警報設備の修繕を行う。 ①潟上市図書館自動ドア修繕 ②図書館昭和分館非常警報設備修繕		

社会体育団体等助成事業	総文	102万円
全国大会等出場激励金対象者の増加に対応するため、事業費を増額する。		

追加

一般会計(第6号)補正額 10億6,051万2千円

ふるさと納税の寄附者および寄附金額の増加に対応するため、事業費を増額する。

- 返礼品の提供 2億3,625万円
- ふるさと応援基金の積立 7億円
- その他の事務費 1億2,426万2千円

●各特別会計の補正額

(単位:千円)

会計名	補正額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	496
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	74,209

一般質問者は7名、審議した議案は報告3件、条例案3件、予算案4件、人事案2件を原案のとおり可決・同意、決算9件を認定しました。

9月定例会に提出された議案等

報告

- 令和6年度潟上市健全化判断比率等について
- 債権放棄の報告について(2件)

条例案

原案 可決

- 潟上市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例
- 潟上市議会議員および潟上市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

予算案

原案 可決

- 一般会計補正予算(第5号)
- 一般会計補正予算(第6号)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

決算の認定

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 豊川財産区特別会計
- 和田妹川財産区特別会計
- 飯塚財産区特別会計
- 水道事業会計
- 下水道事業会計

認定

- 人権擁護委員候補者の推薦について
齊藤 英博 氏(昭和)
高井 滋 氏(飯田川)

陳情

継続審査

- 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

特別会計決算

(単位:千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	3,412,193	3,306,653	105,540
後期高齢者医療	428,764	428,268	496
介護保険事業	4,194,891	3,964,854	230,037
豊川財産区	1,546	1,367	179
和田妹川財産区	555	351	204
飯塚財産区	1,050	695	355
合 計	8,038,999	7,702,188	336,811

水道事業会計決算

(単位:千円)

収益的収入	資本的収支
事業収益	606,416
事業費用	614,495
当年度純利益	▲8,079

下水道事業会計決算

(単位:千円)

収益的収入	資本的収支
事業収益	927,752
事業費用	913,765
当年度純利益	13,987

委員会の動き

総務文教

各委員会の審査状況を紹介いたします。

総務文教常任委員会	
	氏名
委員長	鈴木 司
副委員長	西村 武
委 員	戸田 俊樹
委 員	佐藤 珠樹
委 員	堀井 克見

条例

潟上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

Q 介護と仕事の両立関係に情報提供および職場環境の整備があるが、具体的には。
A 対象職員に対して、制度利用のための事例収集および情報提供を行い、利用に関する手引きやパンフレットを作成し、周知します。

陳情

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

本制度の導入の可否は国が決めるべきものであり、本件については、これまでの経緯も踏まえ継続審査と決しました。

令和7年度 一般会計補正予算(第5号)

学校給食調理等業務委託 3億5,483万5千円

Q 前回委託料との差額とその根拠は。
A 前回(令和5年度～7年度)の限度額との比較では2,029万2千円の増額です。この根拠については、会計年度任用職員として給食調理員を雇用し、消耗品等を準備した場合を設定しています。

生徒派遣費補助金 440万円

Q 生徒派遣費補助金の内容は。
A 全国大会については柔道大会が福岡県、相撲大会が福島県、陸上競技大会が沖縄県で行われるなど、遠方開催されることから旅費等が増額となったものです。

全国大会等出場激励金 102万円

Q 全国大会等出場激励金の詳細は。
A 全国大会に11個人、東北大会に39個人が出席します。激励金は、県外開催・県内開催にかかわらず全国大会は1万5千円、東北大会は1万円と設定しています。

令和6年度 一般会計歳入歳出決算の認定

市税の不納欠損額の処理について

Q 市税の不納欠損に至るまでのプロセスは。
A 滞納整理を進めるうえで、差押可能な財産がなかったときや滞納処分を執行することで、生活保護法の適用を受けるなどの恐れがあるときは滞納処分の執行を停止します。その執行停止が3年間継続したときは、地方公共団体の徴収金を納付する義務が消滅することから、不納欠損処分としています。

石油貯蔵施設立地対策交付金

Q 小型ポンプ積載車の配備は。
A 交付金を活用して昭和支団の3団に小型ポンプ積載車を配備しました。

運動部活性化事業補助金 49万円

Q 中学校部活動の補助金の内容は。
A 部活動の地域移行に伴う指導員を市内3つの中学校に1名ずつ配置しています。

市有地売払収入について

Q 市有地売払収入の内訳は。
A 令和6年度の売払い件数は6件で、主に民間事業者、個人からの払い下げ申請によるものです。売却価格で高いものは、旧幼稚園用地の660万円です。これは不動産鑑定を行い、用地対策協議会で売却予定価格等の内容を審議した後、一般競争入札により売却したものです。

消防団管理システム導入委託料 82万5千円

Q 消防団管理システムの内容は。
A 消防団員に関する活動実績や報酬、退職、表彰などを一括管理するシステムで、これまで複数で入力管理していた消防団員の各種情報が一元化でき、業務の改善が図られました。

芸術文化協会補助金 105万70円

Q 芸術文化振興事業委託料の違いは。
A 芸術文化協会補助金は、芸術文化協会活動費として交付しているもので、公民館委託料の芸術文化振興事業委託料は、音楽祭、市民ミュージカル、映画祭に係る委託料です。

委員会の動き

社会厚生

各委員会の審査状況を紹介いたします。

社会厚生常任委員会

	氏名
委員長	菅原 理恵子
副委員長	鎧 仁志
委 員	鈴木 壮二
委 員	澤井 昭二郎
委 員	中川 光博
委 員	菅原 秀雄

条例

潟上市乳児等通園支援事業の設置および運営に関する基準を定める条例

Q 利用時間は。
A 国では利用時間を10時間程度としていますが、不足する場合は、一時預かり事業を並行して実施したいと考えます。

令和7年度 一般会計補正予算(第5号)

認定こども園・保育所給食調理等業務委託

Q 債務負担行為に係るスケジュールは。
A 事業者を公募および選定し、年度内に3年間の基本契約と令和8年度契約を締結します。

令和6年度 一般会計歳入歳出決算の認定

民生使用料 687万5,200円

Q プラザの湯運営事業者の公募は。
A 9月末現在で問い合わせは2件で、公募はありませんでした。

障害者福祉費 10億106万2,216円

Q 扶助費の見込みについては。
A 介護給付費・訓練等給付費の居宅介護共同生活援助、就労継続支援事業の利用者が増加し、今後も増える見込みです。

環境衛生費

3,474万4,360円

Q 空き家バンクの運営については。

A 今年度中に不動産業の業界団体と協定を締結し、本格的な運営を開始します。

令和6年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

国民健康保険事業費納付金

7億1,945万5,859円

Q 不用額が昨年度より增加了。

A 療養給付費の支払い額が見込みより少なかったことにより、不用額が生じました。

令和6年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

後期高齢者医療広域連合負担金

4億788万9,261円

Q 被保険者数の推移等今後の見通しは。

A 被保険者数は今後も増加し、決算支出額が増えていくものと見込んでいます。

令和6年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

生活支援体制整備事業費 576万1,003円

Q 事業内容は。

A 社会福祉協議会の生活支援コーディネーターによるサロン活動の継続支援、またはサロン参加者が生活援助等の仕組みづくりができるよう助言やサポートを行っています。

委員会の動き

産業建設

各委員会の審査状況を紹介いたします。

産業建設常任委員会

	氏名
委員長	藤原仁美
副委員長	藤原典男
委員	石井和人
委員	菅原龍太郎
委員	伊勢潤
委員	佐藤敏雄

令和7年度 一般会計補正予算(第5号)

鳥獣被害対策事業

90万円

Q 増額の詳細は。

A パトロール等の要請が増加したため実際に出動した隊員に対する報酬を1日あたり3千円に増額するためです。

Q 鳥獣被害対策実施隊の構成と現状は。

A 羽城獣友会および天王獣友会で構成しており、パトロール等を実施しています。本年はクマの目撃情報が8月末で72件と過去最高を上回っています。

観光費

314万6千円

Q 増額の内訳は。

A くららの湯電話設備主装置交換工事134万6千円、鞍掛沼公園施設の維持管理に係る小破修繕100万円と、ブルーメッセあきた管理運営事業80万円です。

令和6年度 一般会計歳入歳出決算の認定

中山間地域等直接支払交付金

105万7,834円

Q 地域、面積など今後の見通しは。

A 現在、市内4地区で合計面積、急傾斜地1万2,477平方メートル、緩傾斜地18万7,631平方メートルが対象ですが、今後、構成員の高齢化などにより面積の減少が想定されます。

稼げる力!農業生産体制強化応援事業

244万2,300円

Q 効果の検証は。

A 事業活用後から3年間、実績報告を提出することになっています。基準に満たない場合は関係機関と連携しフォローアップします。

水産多面的機能発揮対策事業

84万3,419円

Q 事業内容は。

A 漁業者や地域住民が一体となり、藻場や干潟等の保全活動を行う2組織に対する負担金を交付しています。漁業者等で構成される天王の風は干潟清掃や浮遊堆積物の除去、潜水漁業者会等で構成される海の森天王は、人工リーフ等の岩盤清掃などを行っています。

特產品開発委託料

411万4千円

Q 品目の増加状況は。

A 約20品目増え、約270品目となっています。

観光活性化推進事業補助金

312万1千円

Q 出戸浜海水浴場への支援は。

A 誘客を図るために駐車場運営費相当分を補助し、駐車場を無料としています。

定住・移住支援事業費

1,018万7,107円

Q 移住関連組織の一本化は。

A 監査委員から指摘があったことから、今後組織再編等で議論がされます。

道路維持費委託料

2億5,979万3,282円

Q 2,500万円の増額の内容は。

A 人件費および資材、燃料代の上昇により積算を見直したほか、新たに購入した可搬式排水ポンプシステムの設置に係る積込運搬費用を追加したものです。

道路改良工事費

3億889万3,695円

Q 二田追分線改良事業の進捗状況は。

A 事業費ベース81.7パーセント、施工延長ベース49.1パーセントで、令和9年度で完成する見込みです。

令和6年度 水道事業会計決算の認定

Q 漏水については。

A 令和6年度の実績は24件で1,164万6,800円、令和5年度から2件減となっています。今年度の点検は超音波で調査し漏水の発見に努めています。

令和6年度 下水道事業会計決算の認定

Q 今後予定される大きな事業は。

A 老朽化に伴う管路の更新事業があります。

行政視察研修

総務文教

7月9日～7月11日

《福島県会津若松市》

行財政改革の取組について

会津若松市は、令和4年度から8年度までを実施期間とする「行政改革の取組～未来へつなぐ自治体経営に向けて～」を基本目標としています。

その具体的な取組として、持続可能な財政運営では、中期財政見通しの策定や総枠配分方式による予算編成、財務状況の見える化、循環型社会に適用した負担の適正化などを推進しています。また、歳入の増加に向けた取組では、ふるさと納税や広告事業の推進、ネーミングライツの検討、市有財産の積極的な活用に努めています。

公共施設の管理・運営の適正化については、公共施設の再編・利活用等を進めるとして、道路・橋梁、上下水道施設、市営住宅などについても、個別の計画に沿って長寿命化を図っていくとしています。

《宮城県名取市》

東日本大震災を教訓とした危機管理体制(災害への備えや避難体制など)について

2011年(平成23年)3月11日に発生した「東日本大震災」では、名取市沿岸部の閑上地区を中心に津波の被害を受け、多数の犠牲者を出しました。

この甚大な被害に向き合い、肅々と復興への歩みを進めてきた名取市は、災害用備蓄計画に基づき東日本大震災クラスの地震・津波を想定して、最大避難者数11,000人分の食料・飲料水・生活物資等を保管備蓄しています。

また市総合防災訓練や避難所配置職員研修では、情報伝達手段の多重化などに取り組み、避難所運営マニュアルおよび「食事」「睡眠」「排泄」に関する物資や要配慮者のための物資の確保等に重点をおいています。

社会厚生

7月9日～7月11日

《愛知県豊田市》

認知症対策について

認知症になってしまって、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指し、中学校区ごとに地域包括支援センターを設置、認知症地域支援員を配置し相談業務の対応をしています。また認知症本人発信支援制度を今年度から開始、認知症本人や介護者への支援策として認知症伴走型支援拠点「オレンジほっとテラス」を開設するなど、さまざまな施策に取り組んでいます。

重層的支援体制について

「とよた多世代参加支援プロジェクト」を立ち上げ、新たな支援メニューを創出する取組をしています。また地域共生社会の推進のため、令和6年度の実績および厚労省科学研究事業の内容を踏まえ、「重層的支援会議定例会」や「重層的支援推進研修」を開催しているほか、孤独・孤立対策に向けても取り組んでいます。

産業建設

7月7日～7月8日

《北海道江別市》

えべつ都市と農村の交流センター「えみくる」について

旧中学校跡地である地域資源を活用して都市と農村との交流を促進し、農業者の健康と福祉の増進を図ることを目的として平成29年に開設しました。運営は指定管理方式で、設備は研修室3室、調理実習室、テストキッチン、体育室、野球場、大型木製遊具など公民館のような役割にも近い施設で、「食」と「農」を通じて、学びと活力を生み出す体験・交流拠点です。

指定管理者である「特定非営利活動法人えべつ江北まちづくり会」は、江北地区の有志や市内大学の関係者などで構成されており、多様性のある組織力を生かしています。

地域住民の交流を図り地域の産業発展を進めるため参考になりました。

一般質問

7名が
質問
しました



農業について

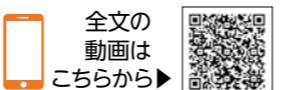
石井 和人 議員

Q 米不足と価格高騰における学校給食への影響は。

A 米飯給食は実施していて、食材費の約19パーセントを占めています。近年は米の価格だけではなく、牛乳や食用油などの価格も高騰していることから、必要摂取カロリーや栄養バランスが確保された献立の作成には大変苦慮していますが、米などの食材の価格上昇の影響を最小限にできるよう、献立や食材の購入方法などの検討を行います。

Q 農業従事者数の変化、後継者不在と離農の実態は。

A 農業における後継者問題は課題で、本市でも農業者の高齢化による離農や後継者の不在により担い手が減少し、今後の課題であると考えています。こうしたことから、営農に必要な知識や技術を習得する「秋田アグリフロンティア育成研修事業」や、就農前の研修段階および就農直後の経営確立に要する資金を交付



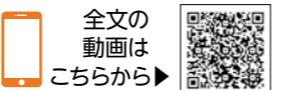
する「農業次世代人材投資事業」などの活用により、新たな担い手の確保に努めます。

Q 農地の集約化、法人化への支援についての考え方。

A 現在、農地の集約化については秋田県農地中間管理機構を活用し、推進しています。法人化への支援については、市独自の取組として、設立間もない農業法人の活動経費に対して助成を行うなど、継続的なサポートを行っています。

Q 離農と就農を効率よく仲介できる制度の必要性についての考え。

A 離農される農業者と新たに就農を希望する方を効率よく仲介できる制度が実現されれば、荒廃農地の発生防止などの効果が期待されますが、両者のタイミングが合致することが前提であり、実現は容易ではありません。本市では、地域の実情に精通している農業委員と連携しながら対応しています。



潟上市市内の風力発電施設について

菅原 龍太郎 議員

Q 陸上風力発電施設から固定資産税は1億数千万円の収入がありますが、収入増をどのような施策に使用する考えか。

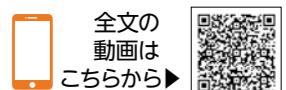
A 税収增加分は、他の財源と併せ、各種計画に基づき、住民福祉の増進に資するさまざまな分野へ予算を配分して、施策や事業を実施し、今後も同様の方針に基づき進める予定です。

Q 風力発電が地域の活性化や人材の定着につながるための方策は。

A 秋田県が県内企業に対して発電事業者とのマッチング機会を提供し、また訓練施設の開設を行っています。

Q 保守管理の徹底と情報共有の対策と発電施設下の緩衝地帯の設置については。

A 適切な保守管理を風力発電事業者に依頼し、立地状況調査の実施および看板や柵等の安全施設の設置確認を行っています。また本市に所在する風力発電施設は、県有地等に所在し、立入りが制限されているので、緩衝地帯の確保につながっています。



Q 陸上・洋上ともに風車が乱立する景観をどのように捉えているか。

A 洋上風力発電が建設された未来には、本市の地球温暖化対策やエネルギー自給率向上とともに、観光・産業・環境教育等新たな可能性を期待しています。

昭和地区からのダイサンスーパー撤退への対応(新たなスーパー誘致)について

Q 現状での昭和地区の困りごとについての認識は。

A 特に移動手段がない高齢者などの食料品や日用品の買い物に支障が生じると考えられることから、マイタウンバスを「メルシティ潟上」まで延長しています。

Q 商業施設(スーパー)の誘致出店についての取組は。

A スーパーなどの大規模な小売店舗は、自社でマーケティング調査などをを行い、その調査結果に基づいて出店を決めるのが一般的であるため、市独自での誘致活動は行っていません。

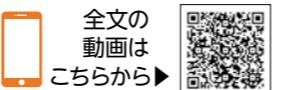
Q スーパーへの各種優遇措置や普通財産の無償貸付等の考えは。

A 優遇措置の考えはありません。



潟上市小型ポンプ操法大会への支援について

鈴木 司 議員



Q 消防ポンプやホース等、同じ条件下で大会が実施されるべきものと思うが、現状はどのような認識か。

A 小型動力ポンプは、日本消防検定協会で承認された機種が各メーカーから販売されていて、市では全分団に小型動力ポンプを配備しています。ホースについても同様で、現状では同じ条件下で競技が実施されているものと認識しています。

Q 大会の出場分団に対する報償制度の創設は。

A 大会は消防技術のほか、小型ポンプの点検や動作確認なども含めて対応する必要があり、成績にこだわらずに大会に出場するよう、今後も働きかけていきます。

出動報酬として各団員に報酬を支給していることから、新たな報償制度の創設は検討していません。消防団の活動を支援するため、引き続き消防機材の配置に努めています。

Q 保護司会と更生保護女性会の現状と課題について。

A 両団体における課題は、担い手不足が懸念されることのほか、現在活動している方の高齢化が挙げられます。各団体の成り立ち等の整理・現状把握をした上で、更生保護活動の広報周知や関係団体との交流の機会の創出などの支援に努めます。

部活動の地域移行について

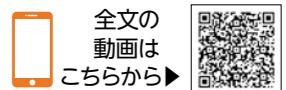
Q 地域移行の環境が整備されている部活動を含め、地域ぐるみで子どもを育てる環境をどのように構築していくか。

A 現在、先行して市内3中学校合同で練習に取り組んでいる競技もあります。これまでの取組の中で見えてきた、指導者や練習会場確保等の課題解決に取り組みながら、状況の変化に柔軟に対応していきます。



公的検診にHPV検査の導入について

菅原 理恵子 議員



Q 導入した場合、HPV検査単独法か併用法のどちらを取り入れるか。

A HPV検査単独法は、満たすべき要件が多数あるため、導入は難しいと考えます。

一方、併用法の場合は、検査の対象者が30歳から60歳と受診間隔が2年から5年に延長するメリットはあるが、有効性が示されていないこともあります。県や他市町村の動向を踏まえ、慎重に考えます。

Q 本市の子宮頸がん検診の検査方法、受診間隔は。

A 検査実施のため、国の指針および、県の要項に基づき実施しています。

ペットボトルキャップ回収で有効活用について

Q ペットボトル回収量に対しキャップの回収割合は。

A 令和6年度の資源化量は、ペットボトル110.2トン、キャップ1.4トンとなっています。ペットボトルの容量がさまざまであることから、キャップ回収割合は約16パーセントと想定されます。

Q 回収量アップに向けた取組と、ペットボトルキャップの出し方の現状と課題は。

A 「ごみの出し方便利帳」に掲載して、市内全世帯に配布し周知を図っています。ペットボトルキャップの回収に限らず、市民一人一人がごみの減量化・資源化への取組に関心を持つことが重要と考え、ごみ分別の周知法について調査・研究しています。

おむつサブスク制度等について

Q 保護者の登園準備にかかる時間軽減等と保育士の業務効率化に向けた、おむつサブスクの取組は。

A 今年度から一部の民間保育施設で取組が開始されており、保護者からは登園準備にかかる負担軽減になっているとの声を聞いています。サブスク導入の民間施設等から、情報提供を得、サービスの実施について調査・研究を進めます。

Q 保育士不足から生じている待機児童解消に向けた対応策は。

A 追分保育園の民営化および昭和こども園と若竹幼児教育センターの統合に取り組んでいます。追分保育園民営化の移管先は、人材確保等の取組も高く評価されており、待機児童解消に努めています。

一般質問

7名が
質問
しました



防災・情報発信について

全文の
動画は
こちらから▶

佐藤 珠樹 議員

Q 防災無線が届かない課題に対し公式LINEを活用した情報発信の検討は。

A 災害情報伝達の主要な手段として防災行政無線を運用しています。風や雨が強い場合や機密性の高い住宅では聞こえにくいなどのデメリットもあります。

現在、放送内容を防災情報メールやLINE等へ一斉配信が可能となる改修工事を実施しています。

Q 市が後援しているイベント情報を市民や市外の方が分かりやすく入手できるよう公式LINEで発信する仕組みは。

A 市の配信基準は市の後援や補助を受けて実施する規模以上のものです。

LINEの他、YouTubeおよびX、今年度からフェイスブックおよびインスタグラムの運用を開始し、情報収集ツールの多様化に対応した発信に努めています。公式LINE等での情報発信は市民の安心感と利便性の向上、地域の活性化が図られると考え、引き続きわかりやすい情報発信に努めます。

Q 観光資源の磨き上げにあたり注目している資源は。

A 市では2つの道の駅およびブルーホールを観光の拠点と位置づけ、イベント開催経費や出戻浜海水浴場の開設に補助を行っているほか、観光協会を通じて、民間事業者の取組にも支援を行っています。

Q 市民が誇りを持てる資源づくりについては。

A 市民一人ひとりが地域について知り、愛着や興味・関心を持つことが重要との認識から「まるごと！かたがみ情報局」の動画配信等を通じ地域の理解を深め誇りが持てるよう努めています。

Q 新しい雇用につなげる具体策は。

A 市の魅力発信による認知度向上や移住・定住を促進することで市外からの新たな視点や知見により地域の活性化が図られると考えます。また、事業者の新たな取組や観光資源等を活用した取組を支援していくことで新たな雇用創出も可能であると考えます。

QRコードから一般質問全文の動画がご覧になります。



旧二田地区浄水場の跡地利用について

全文の
動画は
こちらから▶

藤原 典男 議員

Q 保護者から天王小学校の駐車場として整備できないかと要望がある。今後の対応は。

A 廃止した浄水場はいずれも老朽化が進んでおり、特に建物等の解体は早めに行うことが望ましいものの水道施設という特殊構造物であり多額の費用を要することが想定されます。現段階では解体費用の試算はしていません。廃止施設の解体時期および跡地利用について府内で検討します。

高齢者や障害者宅にエアコン購入の補助について

Q 熱中症で高齢者や障害者の方が死亡したりする事例がありエアコン設置に補助金を出している自治体もある。本市でも必要では。

A これまで高齢者などや家族からの相談は寄せられておりませんが、エアコンの適切な使用

は熱中症予防対策に有効であるものと考えており、周辺自治体の取組状況を注視しながら、調査研究します。

国民健康保険と医療費・保険税について

Q 国民健康保険証が発行停止となった。健康保険税長期滞納者の医療費の支払いやマイナンバーカードのトラブルについての対応は。

A 厚生労働省の通知に基づき、被保険者が医療を受ける必要が生じ、かつ医療機関に対する医療費の一時払が困難である旨の申し出であり、保険税を納付することができない特別な事情に準ずる状況にあると判断した場合には通常の負担割合となる給付を行っています。マイナ保険証の利用に関する相談はありませんが、安心して利用できるよう対応します。



合併20周年、潟上に一体感を

全文の
動画は
こちらから▶

藤原 仁美 議員

Q 旧3町の垣根を越えて交流できるイベント・プロジェクトの展開は。

A これまでの20年間、本市が取り組んできたイベントやプロジェクトを含む各種施策、事業が心の隔たりを解消し、一体感の醸成に寄与した成果と考えています。旧町や中学校区といった枠組みにとらわれず、市として一体的に取組を進めながらも地域の歴史や文化に配慮するとともに、地域に寄り添いながら必要な施策、事業を推進することで、潟上市民としてのアイデンティティの確立やさらなる一体感の醸成に努めます。

こどもまんなか社会の実現について

Q 小・中学生を中心に10代の子どもの居場所については。

A 小・中学生においては不登校傾向にある児童・生徒の要望に応じて、保健室登校や放課後登校へ柔軟に対応したり、教育センター「中央さわやか教室」での受け入れ体制を整えたりするなど学び

の機会や場の充実に努めています。また、各校では授業やその他の教育活動において、地域住民との交流の機会を設けるなど、多くの目で児童・生徒を見守り育てる機会を確保しており、今後も学校・家庭・地域・関係機関の連携を図りながら子どもたちの居場所づくり、健全育成に努めます。

Q 潜在的な支援対象者については。

A こども家庭センターでは、悩みを抱えている子どもが相談できるようホームページ内に、こども相談窓口やヤングケアラーに関する相談窓口を周知しています。

「熟議」のまち潟上について

Q 考える力ナンバーワンの「熟議」のまち潟上を目指す考えは。

A 考える力の向上に熟議は有効な手段であり、まちづくりや地域づくりに熟議を生かすための研修や学ぶ機会については調査と研究が必要と考えます。

令和7年 第3回 臨時会

議長・副議長の選挙

●議長 佐藤 敏雄 ●副議長 鈴木 壮二

承認

補正額 1,075万1千円

573万5千円

104万5千円

397万1千円

専決処分

一般会計補正予算(第4号)

- 法人市民税過誤納還付金・還付加算金支出
- トレイクかたがみ空調設備故障による室内機交換
- 除雪機借り上げ

議案

工事請負契約の締結

- 追分小学校校舎増築工事

原案可決

5億3,902万2千円

議長、副議長について
・編集後記
・賛否一覧

議長・副議長就任

令和7年8月28日付で新しい議長・副議長が就任しました。



佐藤 敏雄 議長



鈴木 壮二 副議長

令和7年9月 定例会

各議員の賛否一覧 (全会一致を除く)
([○]:賛成、[×]:反対、[△]:除名、[欠]:欠席、[議]:議長)

会派名・氏名 議案等	同 志 会						令 和 の 会						改革クラブ			会派に属さない			結 果
	会 長	副 会 長	幹 事 長				会 長	副 会 長				代 表			日本 共 産 党	公 明 党			
西村 武	鎧 仁志	鈴木 壮二	佐藤 敏雄	藤原 仁美	鈴木 司	堀井 克見	菅原 秀雄	澤井昭二郎	石井 和人	中川 光博	戸田 俊樹	菅原龍太郎	藤原 典男	菅原原理恵子	伊勢 潤	佐藤 珠樹			
決 議	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	採択	

決議：潟上市議会における綱紀肃正

潟上市議会における綱紀肃正に関する決議

本市議会議長であった小林悟前議員が酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕される事案が発生いたしました。

全国的にも飲酒運転および酒気帯び運転による重大な事故が多発する状況を受けて、本市においても飲酒運転の根絶に向けて取り組んでいる中で、市議会議員自らがこのような事案により逮捕されたことは、市議会に対する信頼を著しく損なう事態であり誠に遺憾であります。

飲酒運転は決して許されるものではなく、市議会として市民の皆様に深くおわび申し上げるとともに、再びこのような事態を引き起こすことの無いよう、市議会議員として自らを厳しく律し、再発防止と綱紀肃正に努めてまいります。

以上、決議します。

令和7年9月4日

潟上市議会

市議会の傍聴について

潟上市議会では、定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細については、ホームページをご覧ください。

なお、議会の様子はインターネット中継(ライブ配信)や録画でご覧になりますのでご利用ください。

QRコードからも録画で
議会をご覧になれます。



編集後記

9月議会は1年間の市のお金の使い方が計画どおりに使われたのかをチェックする決算議会でした。各委員会では細かいところまでの質疑等が行われましたが、「議会だより」では、リアルに伝えることができなくて残念です。このページで毎回市民の皆様の声も掲載したいところです。今年は市制施行20周年を迎ました。この間、子どもの医療費無料化など制度の前進した面がある一方で、盆踊りなどの各種行事の縮小もあります。市民の意見を反映した議会報告会の内容が次回の議会だよりに掲載されますので、ご覧ください。
(広報編集委員 藤原 典男)